



謹賀新年



根室市議会議長
嶋津 隆之



根室市長
長谷川 俊輔

新春を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、平成20年の輝かしい新春をお迎えのことと、根室市議会を代表し、心からお慶び申し上げます。

今年は昭和32年の市制施行から51年目を迎え、新たな心がまえで市政への取り組みを行なうべき節目の年であります。

市議会はこれまでも、市民の付託を受けた重要な機関として、市政を発展するべく、その役割を果たしてきたところであります。

近年、地方分権の推進が全国的に叫ばれておりますが、一方、平成の大合併に見られるように、市町村の広域化が進められております。

このような状況にあって、市議会は地域の実情や市民の目線に立って「政策決定」や「地域として自立していく方向性をめざす」とともに、議会の活性化と情報公開を図りつつ、より市民が身近に感じられる「開かれた議会づくり」が必要であると考えております。

また、当市は現在、医師確保対策あるいは北方領土問題未解決による地域疲弊の解消や、急速に進展する高齢化問題、行財政改革の推進など大きな課題が残されております。

新たな年を迎えるにあたり、市議会といたしましても、市とともに一体となって、このような地域課題の解決にあたる所存であります。

今後も、明るく住みよい街づくりの実現に向けて、積極的に取り組んで参りますので、市民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、希望に満ちた実り多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。

年頭にあたって

新年明けましておめでとうございます。

輝かしい平成20年の初春を市民皆様と迎えることができましたことを、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、市制施行50周年の記念式典を市民皆様とともに、「協働の形」として築きあげ、厳粛にかくも盛大にお祝いできましたことは大変よろこばしく、多くの皆様からも称賛をいただきました。

決意を新たに市民皆様と「郷土根室の発展」を強い絆で誓うことができましたことに、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、国内の景気は戦後最長の「いざなぎ景気」を抜き緩やかながら順調に回復しておりますが、市中経済は若干の雇用の改善は見られるものの、依然として厳しい状況が続いております。

その中であって、10年連続さんま水揚量日本一の達成、地域医療を支える医師との交流を深める医心伝信ネットワーク会議の設立など、明るい話題もありました。

また、北方領土問題では、北海道洞爺湖サミットにおける日ロ首脳会談で具体的進展を強く望んでいるところです。

当市の抱える課題は山積しておりますが、持続可能な行財政基盤の確立と明るく住みよい街ねむろの実現のため、創意と工夫、市民皆様から寄せられたご意見・ご提言など、あらゆる戦略的方策を駆使し、協働のまちづくりを進めて参ります。

本年が市民皆様にとりまして、実り多い佳き一年となりますことを心からお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。